



WEEKLY REPORT

高山中央ロータリークラブ

2025~2026 年度 高山中央 RC 会長テーマ

親睦・学び・成長・奉仕 ~地区と地域の未来を考えて~

よいことの
ために
手を取りあおう



◆会長 都竹 太志 ◆幹事 井ノ下 雄志 ◆会報委員長 今井 哲也 ◆会報担当 西田 智

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市本町1-2

飛騨信用組合本町サテライト出張所 3階
TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30~

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

| | 会員数 | 出席会員 | 出席数 | Make-up | 出席率 |
|--------------|-----|------|-----|---------|--------|
| 本日 1416回 | 56名 | 56名 | 34名 | ----- | 60.71% |
| 前々回 1414回 | 56名 | 56名 | 40名 | 1名 | 73.21% |

<節分例会>

日時：2026年2月2日（月） 18:00~21:00

会場：飛騨総社・山陣

司会進行 今井 哲也



●会長の時間

会長 都竹 太志



皆さま、節分例会にご参加いただき誠にありがとうございます。慣例ですが、本日は事前に、年男の皆さま、厄年の皆さま、新入会員と希望者の方々が総社でお祓いを受けてきました。

さて、節分とは、季節の節目の日のことで、立春・立夏・立秋・立冬、それぞれの前日、年に四回あります。その中でも二月の節分が特別とされてきたのは、昔の日本では立春が一年の始まりと考えられていたからです。つまり今日の節分は、冬から春への節目であると同時に、新しい一年を迎える前に、心と環境を整える大切な区切りの日もあります。

そこで行われてきたのが、「鬼は外、福は内」、そして豆まきです。

昔の人々は、鬼を災いや病、不安や迷いといった、目には見えない良くないものの象徴と考えてきました。また豆には、穀物としての生命力があり、邪気を払う力があると信じられてきました。豆をまくことで鬼を追い払い、福を呼び込み、清らかな気持ちで新しい一年を迎えようという願いが込められています。では、今の私たちにとっての“鬼”とは何でしょうか。

それは大げさなものではなく、忙しさの中で溜まった疲れや、つい抱え込んでしまうストレスです。この節目に、そうした心の重荷を一度リセットして頂き、軽やかな気持ちで春を迎えていただければと思います。

どうぞ今夜は邪気を払う為にも限られた時間ではございますが、大いに飲み、大いに笑い、大いに語り合ってください。

皆さんに多くの「福」が訪れる事を願い、私の会長の時間といたします。ありがとうございました。

●幹事報告

副幹事 小出 貴博



うまくしゃべりたいです。

杉本 哲也



●親睦活動委員長挨拶

委員長 高原 龍士



<乾杯>

会長エレクト 熊崎 元康



<年男代表あいさつ>

「ひだ」は朝廷に馬を献上する
「御馬（みうま）の産地」だったことから飛ぶ馬と書いて飛騨
とされたと言われています。
我々午年生まれは、飛騨の名に
ちなみ目の前の高い壁や障害を
軽やかにジャンプして、皆様と
共にチャンスを掴み取る、そん
な飛躍の一年にする所存です。
どうぞよろしくお願ひします。

堀口 裕之



<めでた>

大保木 正博



<年男抱負を一言>

道下 利一

還暦です。先輩方のように元
気にやっていきたいです。



<余 興>

新入会員

司会 水野 義治

馬のように走り飛びたいです。

水野 義治



<オークション>

進行 周 信夫



<歓談風景>



<中締め>

副会長 下田 徳彦

